

病院癒やしの演奏



病院のエントランスホールで演奏する和田さんと松下さん

患者らら270人うつつとり

福津市上西郷の水光会宗像水光会総合病院はエントランスホールで、水と光のコンサートを開いた。患者や隣接の老人保健施設の通所者らとその家族、地域の人たちなど約700人が訪れた。

福津

同病院は、地域との連携をモットーに1997年2月から年に3、4回、地元のプロの演奏家を招き、無料コンサートを開催しており、35回目になる4月のコンサートは、春の音色は風にと題して、オカリナ、ケーナ奏者和田名保子さんと、クラシックギター奏者松下隆二さんが出演した。

和田さんは演奏グループ「笛弥呼楽師 雅天空」のオカリナ、ケーナ奏者として、福岡市を中心に九州一円で活動し、昨年、3枚目のアルバム「雅天空」も出している。

コンサートでは、オカリナとギターの穏やかな音色で「コンドルは飛んでいく」や、和田さんが作曲したアルバムの曲などを披露。また、「おぼろ月夜」「上を向いて歩こう」の演奏では、観客全員が歌詞カードを見ながら、和田さんと松下さんの演奏に合わせて歌い、会場は一体になって音楽を楽しんだ。

同病院事務部広報室の松

崎佐奈恵さんは「車いすの患者から、本物のコンサートに行った気分になれてうれしいという話や、音楽で

生きる望みを持ったという話も聞く。一人でも多くの人が癒やされたらと思う」と話し、事務部長の赤た。